



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月4日

上場会社名 株式会社UACJ 上場取引所 東
 コード番号 5741 URL <http://www.uacj.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 満
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 飯田 晴央 TEL (03)6202-2600(代)
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	428,051	0.4	11,797	△45.3	8,730	△55.7	5,428	△43.3
27年3月期第3四半期	426,492	89.7	21,550	91.0	19,708	85.2	9,578	△2.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,507百万円 (△93.4%) 27年3月期第3四半期 22,848百万円 (49.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	12.69	—
27年3月期第3四半期	22.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	682,656	185,197	25.0	399.31
27年3月期	677,952	187,136	25.4	402.78

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 170,779百万円 27年3月期 172,305百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
28年3月期	—	3.00	—		
28年3月期(予想)				3.00	6.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	580,000	1.3	11,500	△51.4	8,000	△62.5	2,000	△76.9	4.68

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注2) 詳細につきましては、本日（平成28年2月4日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	428,281,934株	27年3月期	428,281,934株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	595,785株	27年3月期	486,942株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	427,730,060株	27年3月期3Q	427,912,846株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国や欧州においては緩やかな景気回復が持続したものの、新興国においては中国やアセアン諸国等の経済成長の鈍化が表面化してきました。足元では中国の景気減速が一段と鮮明になり、世界の株式・為替市場に大きく影響を与え、また資源安や中東をはじめとする地政学的リスクの高まりなどで景気の先行きの不透明感が高まっております。

我が国の経済は、円安や資源安の背景はあるものの、個人消費や企業の設備投資が伸び悩んでおります。

このような環境のもと、当社グループの業績につきましては、販売量は低調に推移したものの、為替換算の影響等を受け、売上高は428,051百万円（前年同期比0.4%増）となりました。損益については、5月以降の急激な地金価格下落に伴う棚卸評価関係による悪化や、8月より一貫生産を開始したタイ王国の板圧延工場立ち上げコスト増加等の影響により、営業利益は11,797百万円（同45.3%減）、経常利益は8,730百万円（同55.7%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益についても、前期に発生したTri-Arrows Aluminum Inc.の製造委託先であるLogan Aluminum Inc.での設備故障による損失に対する受取保険金を特別利益として計上したものの、5,428百万円（同43.3%減）となりました。

アルミ圧延品事業

国内アルミニウム圧延品業界の需要については、板類に関しては、箔地はリチウムイオン電池関連を除いて前年同期比マイナスであったものの、缶材はコーヒー缶のアルミ化が進展し需要が伸長しました。また、トラック・バス関連の需要が好調であった自動車材が前年を超える出荷となり、内需総量としては対前年同期比微増となりました。米国の缶材市場は、アルコール飲料用で需要が増加しましたが、清涼飲料用で減少し、前年並みとなりました。一方、押出類に関しては、主力の建築分野を始めほぼ全ての分野で需要が低迷し、前年同期比で減少となりました。

当社グループの売上数量は、板類に関しては、LNG船の需要が本格化した厚板やトラック・バス関連や輸出が好調であった自動車分野の数量が前年同期に比べ伸長しました。他方、缶材については、前期に発生した北米子会社での設備故障の影響もあり、前年同期の水準をやや下回りました。また、第4四半期での地金価格下落を見越した再販品の買い控えが見られたこともあり、全体としては前年同期比微減の結果となりました。押出類に関しては、空調用への採用が本格化したオールアルミ熱交換器用の材料が大きく伸長した以外は、業界傾向と同じく全般的に需要が弱く、前年同期比で減少することとなりました。

このような販売状況であったものの、当期のアルミ圧延品事業の売上高は、為替換算の影響等を受け、340,468百万円（前年同期比1.1%増）となりました。一方、営業利益は、当期の急激な地金価格下落に伴う棚卸評価関係による悪化やタイ王国における板圧延工場立ち上げコスト増加等の影響により、13,466百万円（同37.7%減）となりました。

伸銅品事業

伸銅業界においては、猛暑ではあったものの残暑が長続きせず、家庭用エアコン出荷台数は微増しましたが、業務用エアコンが前年同期比7%減少した結果、当事業の主力である空調用銅管も影響を受け、当期の伸銅品事業の売上高は35,487百万円（前年同期比7.5%減）、営業利益は561百万円（同28.4%減）となりました。

加工品・関連事業

当社グループにおいては、事業譲受や前年同期比地金価格上昇の影響等により、売上高は126,513百万円（前年同期比6.2%増）となりましたが、受注物件の減少や第4四半期の地金価格下落を見越した買い控え等による販売量減少等により、営業利益は2,919百万円（同12.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したものの、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末と比べて1,939百万円減少し、185,197百万円となりました。

総資産については、ほぼ前連結会計年度末並の682,656百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の実績を踏まえ、通期の連結業績が前回の想定を下回る見通しとなったことから、平成27年7月31日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。

通期の連結業績予想につきましては、売上高5,800億円、営業利益115億円、経常利益80億円、親会社株主に帰属する当期純利益20億円を見込んでおります。

詳細につきましては、本日(平成28年2月4日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

重要な子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の損益及び当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,069	22,200
受取手形及び売掛金	108,550	118,344
商品及び製品	32,672	36,986
仕掛品	45,225	52,072
原材料及び貯蔵品	39,842	31,954
その他	22,565	20,155
貸倒引当金	△33	△30
流動資産合計	269,889	281,680
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	56,729	63,958
機械装置及び運搬具（純額）	62,421	91,882
土地	115,711	115,380
その他（純額）	57,512	20,221
有形固定資産合計	292,374	291,441
無形固定資産		
のれん	46,503	44,669
その他	19,369	18,265
無形固定資産合計	65,871	62,934
投資その他の資産		
投資有価証券	32,804	31,323
その他	17,087	15,357
貸倒引当金	△73	△78
投資その他の資産合計	49,818	46,601
固定資産合計	408,063	400,976
資産合計	677,952	682,656

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	110,114	109,637
短期借入金	80,100	59,989
コマーシャル・ペーパー	6,000	5,999
1年内償還予定の社債	2,606	2,545
1年内返済予定の長期借入金	47,074	48,463
未払法人税等	1,930	616
災害損失引当金	291	98
その他	39,769	40,034
流動負債合計	287,884	267,381
固定負債		
社債	7,538	5,000
長期借入金	152,636	169,008
事業構造改善引当金	1,180	1,171
退職給付に係る負債	21,358	18,056
その他	20,221	36,843
固定負債合計	202,932	230,078
負債合計	490,816	497,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,000	45,000
資本剰余金	72,901	73,041
利益剰余金	33,564	36,427
自己株式	△178	△211
株主資本合計	151,287	154,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,026	1,894
繰延ヘッジ損益	△69	△657
為替換算調整勘定	18,055	12,393
退職給付に係る調整累計額	1,006	2,892
その他の包括利益累計額合計	21,018	16,521
非支配株主持分	14,831	14,418
純資産合計	187,136	185,197
負債純資産合計	677,952	682,656

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	426,492	428,051
売上原価	368,797	378,727
売上総利益	57,695	49,325
販売費及び一般管理費	36,145	37,527
営業利益	21,550	11,797
営業外収益		
受取配当金	349	336
その他	1,207	1,323
営業外収益合計	1,556	1,658
営業外費用		
支払利息	2,443	2,523
為替差損	217	1,170
その他	739	1,032
営業外費用合計	3,399	4,725
経常利益	19,708	8,730
特別利益		
受取保険金	-	3,036
その他	27	361
特別利益合計	27	3,397
特別損失		
固定資産除却損	676	488
その他	497	15
特別損失合計	1,174	504
税金等調整前四半期純利益	18,561	11,624
法人税、住民税及び事業税	4,048	2,234
法人税等調整額	3,727	3,452
法人税等合計	7,775	5,686
四半期純利益	10,786	5,938
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,207	510
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,578	5,428

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	10,786	5,938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	989	△132
繰延ヘッジ損益	△245	△558
為替換算調整勘定	10,850	△5,398
退職給付に係る調整額	218	1,842
持分法適用会社に対する持分相当額	251	△184
その他の包括利益合計	12,062	△4,430
四半期包括利益	22,848	1,507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,743	938
非支配株主に係る四半期包括利益	3,105	569

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	298,441	28,717	99,333	426,492	—	426,492
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38,306	9,665	19,770	67,740	△67,740	—
計	336,747	38,382	119,103	494,232	△67,740	426,492
セグメント利益	21,626	783	3,321	25,730	△4,180	21,550

(注)1. セグメント利益の調整額△4,180百万円には、たな卸資産の調整額△166百万円、セグメント間取引消去△257百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,757百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	296,175	26,967	104,909	428,051	—	428,051
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44,293	8,519	21,604	74,416	△74,416	—
計	340,468	35,487	126,513	502,468	△74,416	428,051
セグメント利益	13,466	561	2,919	16,946	△5,148	11,797

(注)1. セグメント利益の調整額△5,148百万円には、たな卸資産の調整額△75百万円、セグメント間取引消去△257百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,816百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。